JLMA®

The Japan Lock Manufacturer's Association

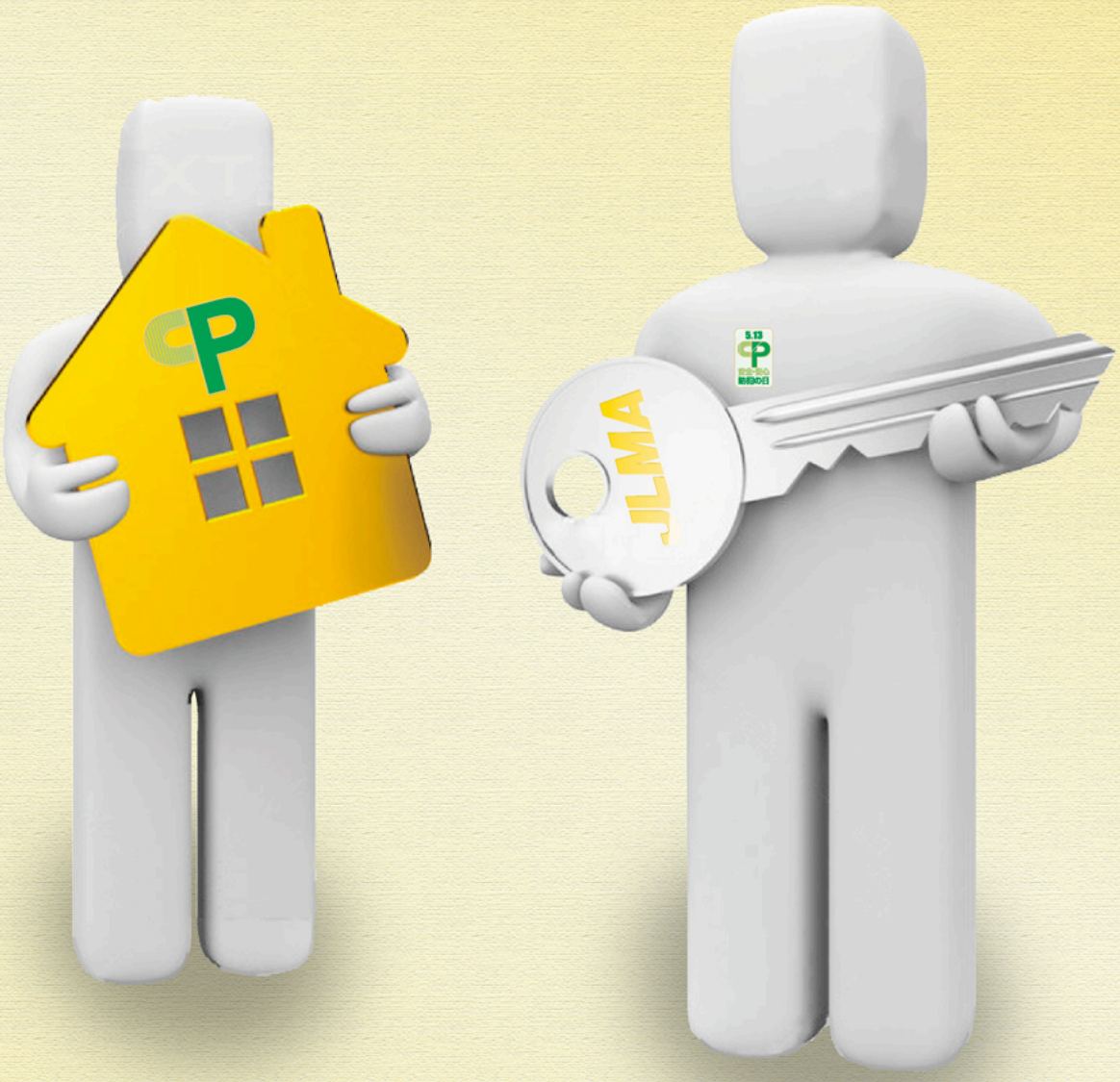
26

2015.7

会報 2015.7 VOL.26

特集1 第16回 定時総会報告

特集2 次世代防犯ボランティア育成プログラム事業

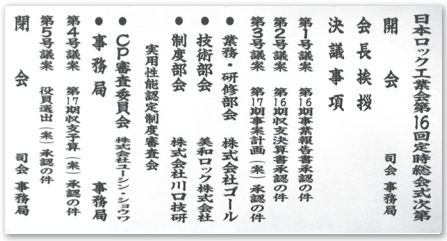


日本ロック工業会

牛が淵に咲く桜

特集.1 第16回 定時総会報告 …… 1

■議案内容　第１号議案　第16期　事業報告書承認の件
第２号議案　第16期　収支決算書承認の件
第３号議案　第17期　事業計画（案）承認の件
第４号議案　第17期　収支予算（案）承認の件
第５号議案　役員選出（案）承認の件



日本ロック工業会第16回定時総会式次第
開　会　司会 事務局
会長挨拶
決議事項
第1号議案　第16期事業報告書承認の件
第2号議案　第16期収支決算書承認の件
第3号議案　第17期事業計画（案）承認の件
●業務・研修部会　株式会社ゴール
●技術部会　美和ロック株式会社
●制度部会　株式会社川口技研
実用性能認定制度審査会
●CP審査委員会　株式会社エーシン・シュウワ
●事務局　事務局
第4号議案　第17期収支予算（案）承認の件
第5号議案　役員選出（案）承認の件
閉　会　司会 事務局

日本ロック工業会　第16回定時総会式次第

特集.2 次世代防犯ボランティア育成プログラム事業（全国防犯協会連合会） …… 3

CONTENTS
事業目的 …… 5
会員会社・組織図 …… 5
平成26年度　総会・理事会・部会活動経過 …… 6
平成27年度　事業計画 …… 13
関連資料（業務・研修部会） …… 15
会員会社紹介 …… 16
JLMA通信 …… 17
JLMA TOPICS …… 19
部会編成会社一覧表〈平成27年度〉 …… 20
会員会社情報 …… 20

特集.1 第16回 定時総会報告

平成２７年度　第１６回定時総会は、５月２２日（木）に東京都千代田区霞ヶ関の法曹会館「富士」において開催致しました。
本総会では、正会員１８社（委任状２社含む）、賛助会員３社のもと第１号議案の第１６期事業報告書から第５号議案である役員選出（案）承認の件までの議案がすべて承認可決されました。また、総会後の懇親会ではご来賓として国土交通省、経済産業省、警察庁３省庁の他２３団体４２名の方々のご出席を賜り盛大な会が執り行われました。

「日本ロック工業会　第16回 定時総会」会長挨拶

議長の加藤会長

本日は皆様方におかれましては大変お忙しいところ又ご遠方より、日本ロック工業会第１６回定時総会にご出席賜り誠に有難うございます。定時総会のご案内をさせていただきましたところ、会員の皆様方にはご多忙の中、お繰り合わせの上ご出席いただき誠にありがとうございます。
日頃は、当工業会の運営にご理解とご協力を賜り厚くお礼申しあげます。
冒頭ではございますが、当会員でございました株式会社ヤナイ、箭内一社長が平成２６年１２月に、また、ＪＬＭＡ創設以来技術顧問として多大なるご指導を賜りました坂田研究室坂田種男先生が平成27年４月に急逝されましたこと改めてご報告いたします。この場をお借りして故人のご冥福をお祈り致します。
さて、私が会長職を仰せつかり、早いもので３期６年が経過し、平成２６年度も副会長、監査役、理事会社計１１社の体制により精力的に活動して参りました。昨年の総会にて皆様方からご賛同頂きました基本方針は７項目でありましたが、これらの基本方針は全て計画通りに推移しております事をご報告致したく存じます。
また、本年４月３０日の理事会におきまして平成２６年度の全計画の結果報告と新年度平成２７年度の活動計画につきまして承認されましたが、本日の総会におきまして皆様方よりご承認を頂戴いたしたく存じますのでよろしくお願い申し上げます。

新年度、平成２７年度ＪＬＭＡ基本方針としまして５項目の事業活動を行って参ります。

１．デジタルドアロックの性能規格に関する検討
２．“安全・安心「防犯の日」”の周知活動
３．錠前の輸出促進を図る施策検討
４．JIS 規格の国際化への検討（情報収集）
５．「錠の実用性能認定制度」「錠の保守点検制度」「錠の耐用年数ガイドライン」

の周知活動でございます。新年度におきましても引き続き活発な活動を続けて行きたく皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

昨年度住宅着工戸数は約８８万戸と前年比△１１％であり、マンションについても東京では２４％ダウンし、我々の事業環境も徐々にきびしくなりつつあります。

特に来年度は消費税１０％になる事から戸建住宅建築数量は６０万～７０万戸台に落ち込む傾向にあり、今後建築のどの分野が発展して行くかを予想しますと、リフォーム分野への展開の流れが出て来るのではないかと思われます。

理事の皆様

会員の皆様

当会の事業発展項目に関しましては

◉実用性能認定制度の積極的な展開であり、錠の実用性能認定制度におきましては、昨年度末にＪＬＭＡ試験所１２箇所・製品７社４１品目の認定となりました。今年度は、経済産業省・国土交通省をはじめ、警察庁・関連団体への広報活動を大きなテーマとして展開して行きます。

◉現在、日本ロックセキュリティ協同組合とタイアップしながら展開する「錠の耐用年数ガイドライン」と「錠の保守点検制度」の周知活動であります。錠の耐用年数ガイドライン」でありますメカニカル商品１０年、電気錠７年の耐用年数は徐々にではありますが浸透しつつあり、この二つの案件につきましては、日本ロックセキュリティ協同組合と共にテーマと期間を決めてスピードを持って事業展開することで、エンドユーザーに対するインパクトが期待できると考えております。

佐佐木業務・研修部会長

青木技術部会長

また継続的な活動展開項目としましては

◉昨年度から引き続きの課題であります「デジタルドアロック」について、積極的活動を展開したいと思っております。今年度は秋に国際会議が日本で開催され、当会の技術部会が参加します。デジタルドアロックについての市場動向・定義・防犯性能の評価等を整理し、安心して使用いただける製品として研究して参ります。

◉錠の輸出促進に関しては、業務・研修部会が中心で対応しており、海外建設協会からの情報を基にＣＰ商品・実用性能認定製品の今後の輸出促進の施策を検討して参ります。今年度は、各会員へ情報提供できるよう努力するとともに実現を図っていきたいと考えます。

◉JIS 改訂については、技術部会から選任された委員６名にご尽力頂いた結果を経済産業省へ提出し、最後の専門委員会の答申を受ける段階まで参りましたことを報告いたします。２年後には、JISA1541-1、-２の改定版として平成２８年発行予定です。また、錠の海外進出におけるひとつの性能として、JIS 規格が海外において評価されないか検討を重ねて参ります。

大塚制度副部会長

ＣＰ審査委員会の山本試験員

◉国民の防犯意識の向上を図る施策については、その趣旨を官民合同会議構成員としてＪＬＭＡ、サッシ、ガラス、シャッター・ドア、ウインドウ・フィルムの５業界から成り立つ「５団体防犯建物部品普及促進協議会」にはかり、安全・安心「防犯の日」として５月１３日に制定することが出来ました。国民の防犯意識を高めるための日として、引き続き、全国防犯協会連合会が主催する「次世代防犯ボランティア育成プログラム研修会」を通じ、この安全・安心「防犯の日」を全国の防犯協会へ周知することで発展を期待できる活動であります。また、５団体活動予算を組み（１団体１９万円）運営することにより、警察博物館展示会場でのＰＲ活動・ニュースリリースによる業界紙等への投げ込み・５団体ホームページの立ち上げ等ＣＰ普及に役立てることが決定しております。今後とも５団体の絆がより深まれば、大きなＰＲ団体として、国民の防犯意識向上に寄与出来るのではないかと期待しているところです。

加藤会長

太田監事

◉日本ロックセキュリティ協同組合との相互活動でありますが、今後は「錠の耐用年数ガイドライン」と「錠の保守点検制度」を主体として当会と車の両輪となって期間を決めた活動を展開したいと考えております。
錠前業界の発展と事業拡大のため、両団体のベクトルを合わせた活動が必要と考えておりますのでより一層お互いの理解を深め活動して行く所存です。

木村事務局長

◉保守点検の法制化について、昨年法制化された日本シヤッター・ドア協会の情報を参考に進めてまいります。

最後に新年度にあたり平成２７年度は、役員任期満了のため選挙となります。改選に際しまして本年４月３０日の理事会において承認されました改選案についてご審議頂きたく宜しくお願い申し上げます。

２年間に渡りご活躍頂きました現役員の皆様、各部会長はじめ担当者の皆様に対しまして積極性と献身的対応に心から敬意を表し厚くお礼申し上げます。有難うございました。

新年度におきましても各部会・各対応チームが精力的に効率よく活動し、会員の皆様へのご期待に沿った活動展開を期待しております。

会員各位に於きましては設立目的を改めて確認して頂き、善良なる国民が、安心して生活できる世の中作りに貢献している団体として、今後も責任ある行動が大切であり、業界発展のためにも全力を尽くすことが必要であります。

今後も当工業会にご協力・ご尽力をいただきます会員ならびに担当者の皆様には改めて感謝を申し上げますとともに、日本ロック工業会の行動に誇りと自覚を持って、今年も当工業会の活動にご協力頂きますようお願い申し上げ冒頭の挨拶と致します。

第 16 期 日本ロック工業会新体制

会　長	日本カバ株式会社	取締役相談役	加藤海士郎
副会長	株式会社ゴール	代表取締役社長	岸本　俊仁
副会長	美和ロック株式会社	代表取締役社長	和氣　英雄
理　事	株式会社アルファ	取締役常務執行役員	有賀　新二
理　事	株式会社 WEST inx	代表取締役社長	西　康雄
理　事	株式会社オプナス	代表取締役社長	峯村　陽一
理　事	株式会社川口技研	代表取締役社長	納口成一朗
理　事	株式会社計電産業	執行役員工場長	片海　好正
理　事	株式会社シブタニ	代表取締役社長	遠藤偉佐實
理　事	株式会社ユーシン･ショウワ	代表取締役社長	新山　弘之
監　事	株式会社ベスト	取締役相談役	太田　卓男

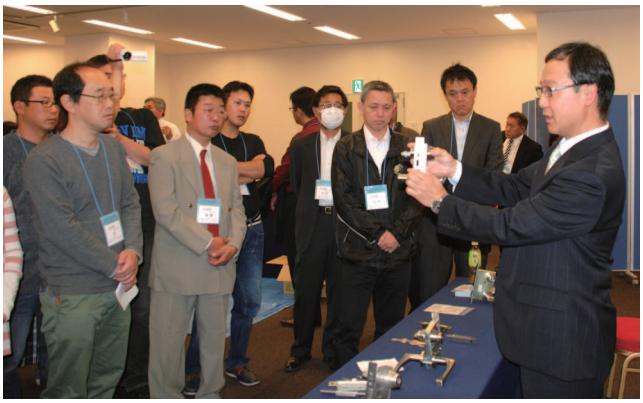
平成２７年５月２７日
会長　加藤 海士郎

特集.2 次世代防犯ボランティア育成プログラム事業（全国防犯協会連合会）

公益財団法人全国防犯協会連合会（全防連）による平成２６年度事業として、平成２６年１１月８日（土）に中国・四国９県から参加した約７０名のボランティアを迎え、広島県広島市中区のＴＫＰガーデンシティ広島で第１回目を開催した。
この研修会は、現役世代の防犯ボランティアの方々に、高齢化が進む防犯ボランティア団体の次世代リーダーのリーダーになってもらい、活動の活性化を図ることを目的に実施した。
ＣＰ製品の普及を図る５団体防犯建物部品普及促進協議会として積極的に参加し、「防犯性能の高い建物部品」ＣＰ錠の防犯性能の高さと安全性について実演を含め説明などを実施した。

〈第１回〉
■日　時：平成２６年１１月８日（土）
■会　場：広島県広島市中区ＴＫＰガーデンシティ広島
■参加者：【中国・四国地区】１都１０県 約１００名

プロジェクターを使ってＣＰ制度の説明


現物のＣＰ錠で一般錠との違いを熱弁

〈第２回〉
■日　時：平成２６年１２月６日（土）
■会　場：東京都港区芝 ＴＫＰ田町カンファレンスセンター
■参加者：【関東地区】１都１０県 約１００名

関東地区ボランティアの面々

熱心に説明を聞くボランティアの面々

〈第３回〉
■日　時：平成２７年１月３１日（土）
■会　場：兵庫県神戸市中央区 ＴＫＰ三宮会議室
■参加者：【近畿地区】２府４県 約７０名

近畿地区ボランティアリーダー

女性のボランティアリーダーも参加

事業目的

暮らしを見つめ社会を支え未来を築く「キーステーション」それがJLMA®〈ジルマ〉です。

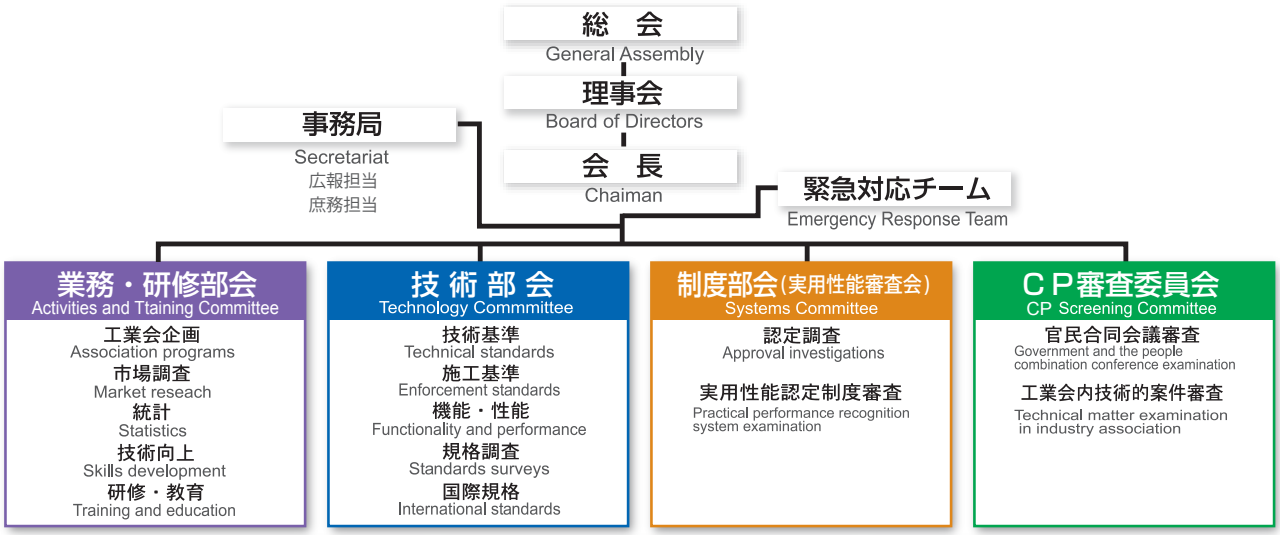
JLMA® The Japan Lock Manufacturer's Association

主要活動項目

1. 使用者が適正な錠選択ができるよう、安全に関する錠の規格、基準、審査規定の制度および開示
2. エンドユーザーに対する錠の正しい「知識」と「防犯・防災」の啓発
3. 関係業界との良好な関係の維持・発展
4. 関係官庁との情報収集と情報提供
5. 会員相互及び関係業界との連絡・相談の窓口
6. 国際競争力の強化の方針
7. 関連海外規格資料の調査整備
8. 錠前取扱技術者資格認定制度の制定
9. ＩSO 規格・ＪＩＳ規格等の各種規格の整合性に関すること
10. 関連法律に対する業界の統一対応

会員会社・組織図

組　織　図
Organization Chart



● 業務・研修部会 Activities and Ttaining Committee

部会長会社 Chief company	株式会社 ゴール GOAL CO.,LTD.
副部会長会社 Sub-chief company	株式会社 オプナス OPNUS CO.,LTD.
	株式会社 ユーシン･ショウワ U-SHIN・SHOWA LTD.

● 技術部会 Technology Commmittee

部会長会社 Chief company	美和ロック 株式会社 MIWA LOCK CO.,LTD.
副部会長会社 Sub-chief company	株式会社 アルファ ALPHA Corporation
	株式会社 ゴール GOAL CO.,LTD.

● 制度部会 （実用性能審査会） Systems Committee

部会長会社 Chief company	株式会社 アルファ ALPHA Corporation
副部会長会社 Sub-chief company	美和ロック 株式会社 MIWA LOCK CO.,LTD.
	日本カバ 株式会社 NIHON KABA K.K.

● ＣＰ審査委員会 CP Screening Committee

株式会社 アルファ ALPHA Corporation	株式会社 WEST inx WEST INX.,LTD.	株式会社 オプナス OPNUS CO.,LTD.	株式会社 川口技研 KAWAGUCHI GIKEN Inc.	株式会社 ゴール GOAL CO.,LTD.
株式会社 シブタニ SHIBUTANI CO.,LTD.	日本カバ 株式会社 NIHON KABA K.K.	合資会社 堀商店 HORI LOCKS & BUILDER'S HARDWARE	美和ロック 株式会社 MIWA LOCK CO.,LTD.	株式会社 ユーシン･ショウワ U-SHIN・SHOWA LTD.

正　会　員 （五十音順）
Regular Member

●株式会社 アート ART JAPAN CO.,LTD.	●株式会社 川口技研 KAWAGUCHI GIKEN Inc.	●株式会社 ジャパンモドリック Japan modric ltd.	●株式会社 日本ロックサービス Nihon Lock Service co.,LTD.	●美和ロック 株式会社 MIWA LOCK CO.,LTD.
●株式会社 アルファ ALPHA Corporation	●株式会社 計電産業 KEIDEN SANGYO CO.,LTD.	●東洋シヤッター株式会社 TOYO SHUTTER CO.,LTD.	●株式会社 日中製作所 HINAKA MFG CO.,LTD.	●株式会社 ヤナイ YANAI COMPANY LTD.
●株式会社 WEST inx WEST INX CO.,LTD.	●株式会社 ゴール GOAL CO.,LTD.	●株式会社 長沢製作所 NAGASAWA MANUFACTURING CO.,LTD.	●株式会社 ベスト BEST Inc.	●株式会社 ユーシン･ショウワ U-SHIN・SHOWA LTD.
●株式会社 オプナス OPNUS CO.,LTD.	●株式会社 シブタニ SHIBUTANI CO.,LTD.	●日本カバ 株式会社 NIHON KABA K.K.	●合資会社 堀商店 HORI LOCKS & BUILDER'S HARDWARE	●株式会社 ユニオン UNION CORPORATION

賛 助 会 員 （五十音順）
Supporting Member

●アイホン 株式会社 AIPHONE CO.,LTD.	●杉田エース 株式会社 SUGITA ACE CO.,LTD	●株式会社 東海理化電機製作所 TOKAI RIKA CO.,LTD.	●株式会社 栃木屋 TOCHIGIYA CO., LTD.	●株式会社 ブイ･シー･イー･ジャパン VCE Japan Corporation
●アトムリビンテック 株式会社 ATOMLIVINTECH CO.,LTD.	●株式会社 大黒製作所 DAIKOKU DOOR LOCK CO.,LTD.	●東急建設 株式会社 TOKYU CONSTRUCTION CO.,LTD.	●株式会社 ニッケンハードウエア NIKKEN HARDWARE CO.,LTD.	●株式会社 フキ FUKI CO.,LTD.
●共栄工業 株式会社 KYOEI INDUSTRIES Co.,LTD.	●株式会社 ダイワロックス Daiwa Locks CO.,LTD.	●株式会社 トーショウビルサービス TOSHO BUILDING SERVICE.,LTD.	●日本ロックセキュリティ協同組合 The Co-operative Association of Japan Lock Security	●マツ六 株式会社 MATSUROKU CO.,LTD.
●株式会社 五味製作所 Gomi Company Limited	●タキゲン製造 株式会社 TAKIGEN MFG. CO.,LTD.	●株式会社 トーヨーコー TOYOKO CO.,Ltd.	●株式会社 ファースト･ロック FIRST LOCK CO., LTD.	●株式会社 ミズタニ MIZUTANI CO.,LTD.

2015 年 6 月 1 日現在（As of Jun 1, 2015）

26年度　総会・理事会・部会活動経過〈平成26年6月～平成27年5月〉

理 事 会

◉第 49 回 定時理事会　〈平成 26 年 12 月 9 日〉

■場　　所　　京都ホテルオークラ：京都
■議案内容
第１号議案　各部会活動中間報告ならびに承認の件
第２号議案　第９回 防犯建物部品自主点検委員会報告
第３号議案　実用性能認定制度報告の件
第４号議案　５団体防犯建物部品普及促進協議会活動報告の件
第５号議案　中間収支報告の件
第６号議案　日本ロックセキュリティ協同組合からの依頼の件
第７号議案　その他
以上、議案については原案通り異議なく承認可決ならびに確認された。

業務・研修部会

◉第 158 回 業務・研修部会　〈平成 26 年 6 月 19 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
１）実用性能認定制度パンフレットについて
２）キー複製検討委員会について
３）JLMA 会報２５号について

◉第 159 回 業務・研修部会　〈平成 26 年 8 月 21 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
１）ＪＬとの意見交換会内容説明（事務局より）
２）Ｈ２６年度事業計画の進捗について

◉第 160 回 業務・研修部会　〈平成 26 年 10 月 23 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
１）実用性能検索システムについて　　２）海外輸出について
３）Ｈ２６年度事業計画進捗について　　４）その他

◉第 161 回 業務・研修部会　〈平成 26 年 11 月 18 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
１）実用性能検索システムについて
２）Ｈ２６年度事業計画中間報告について

◉第 162 回 業務・研修部会　〈平成 27 年 1 月 21 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
１）第 49 回定時理事会報告（事務局）
２）実用性能認定製品検索システムについて
３）第 23 回セキュリティショーについて

第 161 回業務・研修部会

◉第 50 回 定時理事会　〈平成 27 年 4 月 30 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議案内容
第 17 期役員（理事・監事）（案）決定承認の件
第 17 期役員（会長・副会長）（案）決定承認の件
第 17 期部会担当会社（部会長・副部会長・部員）決定承認の件
第 16 期事業報告書（案）承認の件
第 16 期収支決算報告書（案）承認の件
第 17 期事業計画（案）承認の件
第 17 期収支予算（案）承認の件
実用性能認定制度申請報告の件
５団体防犯建物部品普及促進協議会活動報告の件　　その他

◉第 51 回 定時理事会　〈平成 27 年 5 月 27 日〉

■場　　所　　法曹会館：東京
■議案内容
第一号議案　　第 17 期役員役職確認の件
第二号議案　　第 52 回定時理事会・第 17 回定時総会日時（案）承認の件

◉第 163 回 業務・研修部会　〈平成 27 年 3 月 12 日〉

■場　　所　　エルおおさか：大阪
■議事内容
１）実用性能認定製品検索システムについて
２）海外輸出促進について
３）JL 報告について
・神田事務局長退任の件（後任に原田氏が事務局長代行）

◉第 164 回 業務・研修部会　〈平成 27 年 4 月 16 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
１）JL 事務局長代行新任挨拶（原田氏）
２）理事会人事について
３）平成 27 年度事業計画について
４）実用性能認定制度の広告パンフレットについて
５）総合防犯防災展ブース担当スケジュールについて

◉第 165 回 業務・研修部会　〈平成 27 年 5 月 13 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
１）第 50 回理事会報告
２）実用性能認定制度用広報パンフレットについて
３）海外輸出の関連団体訪問について

◉第４回 キー複製検討委員会　〈平成 26 年 8 月 26 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
１）スペアーキー作成業者登録の継続審議について
２）純正キー識別方法について
３）防犯に対する法制化案について

第４回キー複製検討委員会

技術部会

◉第 100 回 技術部会 〈平成 26 年 9 月 12 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
1）グレモン錠の試験結果及び規格化検討
2）JIS 改定について

◉第 101 回 技術部会 〈平成 26 年 11 月 14 日〉

■場　　所　　エルおおさか：大阪
■議事内容
1）グレモン錠についての審議　2）デジタルドアロックについて
3）ISO/TC162 引戸窓用自動施錠金具の規格化について

◉第 102 回 技術部会 〈平成 27 年 1 月 16 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
1）JIS 改正原案作成委員会報告
2）グレモン錠の試験結果並びに規格化についての検討
3）デジタルドアロックについて
4）ISO/TC162 引戸窓用自動施錠金具規格化
5）非常錠の規格　　6）錠前通行区分について

◉第 103 回 技術部会 〈平成 27 年 3 月 13 日〉

■場　　所　　エルおおさか：大阪
■議事内容
1）2015 年度技術部会開催日程変更について
2）JIS 改正原案作成委員会報告
3）グレモン錠の試験結果ならびに規格化についての検討
4）デジタルドアロックについて

◉第 104 回 技術部会 〈平成 27 年 5 月 22 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
1）蛭間氏の問い合わせの件
2）JIS A 1541-1 資料審議
3）JLMA A 2007 非常錠の試験方法・要求性能の審議

第 104 回技術部会

◉第 17 回 JIS 改正原案作成委員会 〈平成 26 年 6 月 9 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
1）委員打合せ

◉第 18 回 JIS 改正原案作成委員会分科会 〈平成 26 年 7 月 7 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
1）本委員会で審議となった 3 件と耐久試験の変更について
2）(JIS A 1541-1 の内容) 7.1.1.1 キーによる施解錠繰返し試験の文書訂正
3）(JIS A 1541-2 の内容) 4.4.3 同一タンブラーの使用数の文書訂正
4）(JIS A 1541-2 の内容) 4.2 の表 2 の訂正
5）(JIS A 1541-2 の内容) 4.5 デッドボルトの出寸法の文書訂正
6）(JIS A 1541-1) 5.1 試験体の数について

◉第 19 回 JIS 改正原案作成委員会 〈平成 26 年 7 月 24 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
1）委員打合せ

◉第 20 回 JIS 改正原案作成本委員会 〈平成 26 年 9 月 5 日〉

■場　　所　　法曹会館：東京
■議事内容
1）第 1 回本委員会議事録（案）内容確認
2）前回審議 3 件及び耐久試験体数の変更と耐じん性能グレード追加の回答
3）JISA1541-1 7.1.1.1 キーによる施解錠繰返し試験文章訂正の報告及び了承可否
4）JISA1541-2 4.3.3 同一タンブラー使用数の文章訂正の報告及び了承可否
5）JISA1541-2 4.2 外力に対する性能表 2 の訂正報告及び了承可否
6）JISA1541-2 4.5 デッドボルト出寸法の文章訂正の報告
7）JISA1541-1 5.1 試験体数の耐久試験の試験体数についての報告及び了承可否
8）JISA1541-2 4.6 耐じん性能のグレード追加の意見に対する回答

◉第 21 回 JIS 改正原案作成委員会 〈平成 26 年 10 月 2 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
1）委員打合せ

◉第 22 回 JIS 改正原案作成委員会 〈平成 26 年 11 月 12 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
1）第 2 回本会議議事録に対する対応　2）日本規格協会提出資料について
3）解説製作審議　　4）宿題事項確認

◉第 23 回 JIS 改正原案作成委員会 〈平成 26 年 12 月 5 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
1）委員打合せ

◉第 24 回 JIS 改正原案作成委員会 〈平成 27 年 1 月 15 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
1）委員打合せ

◉第 25 回 JIS 改正原案作成委員会 〈平成 27 年 2 月 5 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
1）委員打合せ

◉第 26 回 JSA 規格調整分科会 〈平成 27 年 3 月 10 日〉

■場　　所　　日本規格協会：東京
■議事内容
1）JIS 原案作成作業

◉第 27 回 JIS 改正原案作成委員会 〈平成 27 年 3 月 18 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
1）委員打合せ

◉第 28 回 JIS 改正原案作成委員会 〈平成 27 年 4 月 1 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
1）委員打合せ

◉第 1 回 WG 会議〈平成 26 年 7 月 3 日〉

■場　　所　　日本規格協会：東京
■議事内容
1）2014.1 月に行われた国際会議（DDL プロジェクト会議）の本会議対応

第 18 回 JIS 改正原案作成委員会分科会

25年度　総会・理事会・部会活動経過

制度部会

◉第 43 回 実用性能認定制度審査会〈平成 26 年 6 月 6 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
1）今年度検討項目の確認　　2）今年度審査会日程調整
3）製品申請状況の確認　　4）JIS 改正原案検討委員会報告
5）オブザーバーの出席について

◉第 44 回 実用性能認定制度審査会〈平成 26 年 8 月 22 日〉

■場　　所　　クレオ大阪北：大阪
■議事内容
1）今年度検討項目について　　2）実用性能認定制度Q&A まとめ
3）チェックシート方針案について
4）試験所サーベイランス時期について　　5）製品申請状況の確認
6）審査費用と運営費用について　　7）研修会実施について

◉第 45 回 実用性能認定制度審査会〈平成 26 年 10 月 23 日〉

■場　　所　　BL 筑波試験センター：茨城
■議事内容
1）参加者：鈴木敏夫（建材試験センター）、齊藤暎芳 (BL)
　アルファ、WESTinx、オプナス、川口技研、ゴール、シブタニ、
　日本カバ、堀商店、美和ロック、ユーシン・ショウワ、長沢製作所
　事務局：加藤会長、木村事務局長
2）内容：BL で実施する試験視察／試験所認定業務に関する講習

◉第 46 回 実用性能認定制度審査会〈平成 26 年 12 月 12 日〉

■場　　所　　クレオ大阪北：大阪
■議事内容
1）審査会メンバー変更の件　　2）第 49 回理事会報告
3）M社試験所サーベイランスについて
4）製品申請について
5）JLMA 実施の製品サーベイランスについて

◉第 47 回 実用性能認定制度審査会〈平成 27 年 4 月 6 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
1）試験所サーベイランス（3 社）
2）製品申請承認の件（6 社 20 品目）
3）実施要領書改定（案）確認
4）審査委員会資料作成

◉第 18 回 実用性能認定制度審査会（東日本分科会）〈平成 26 年 7 月 11 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
1）事務局報告⇒BL つくば試験所見学・講習会　2）Q&A のまとめ
3）自己チェックシートについて
4）製品サーベイランス起算日について
5）東日本分科会における議長・書記持ち回りの件

◉第 19 回 実用性能認定制度審査会（東日本分科会）〈平成 26 年 9 月 26 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
1）実用性能認定制度 Q&A まとめ　　2）実施要項改訂（案）
3）JLMA が実施する製品サーベイランスについて (建セ) との打合せ報告

◉第 20 回 実用性能認定制度審査会（東日本分科会）〈平成 26 年 11 月 21 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
1）JLMA 実施の製品サーベイランスについて
2）試験所サーベイランスについて審査委員会からの提案
3）Q&A のまとめ

◉第 21 回 実用性能認定制度審査会（東日本分科会）〈平成 27 年 1 月 23 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
1）審査会メンバー変更　　2）製品申請要領改訂
3）１５年度版実施要領改訂　　4）製品申請について
5）製品サーベイランス実施について　　6）室内錠表示方法及び規格変更

◉第 22 回 実用性能認定制度審査会（東日本分科会）〈平成 27 年 4 月 24 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
1）前回議事録の確認
2）JLMA 実施する製品サーベイランスの問題点抽出

◉第 18 回 実用性能認定制度審査会（西日本分科会）〈平成 26 年 9 月 19 日〉

■場　　所　　クレオ大阪西：大阪
■議事内容
1）M 社製品予備審査
2）Q&A

◉第 19 回 実用性能認定制度審査会（西日本分科会）〈平成 26 年 11 月 21 日〉

■場　　所　　いせシティプラザ北館：三重
■議事内容
1）３社の製品予備審査
2）M 社試験所サーベイランスについて
3）JLMA が実施する製品サーベイランスの課題について

◉第 20 回 実用性能認定制度審査会（西日本分科会）〈平成 27 年 1 月 21 日〉

■場　　所　　クレオ大阪西：大阪
■議事内容
1）U 社審査員交代について　　2）U 社試験所サーベイランスについて
3）M 社試験所サーベイランス結果
4）S 社サーベイランスについて　　5）G 社製品予備審査結果
6）試験所間比較等、製品サーベイランスについて

◉第 21 回 実用性能認定制度審査会（西日本分科会）〈平成 27 年 5 月 29 日〉

■場　　所　　いせシティプラザ北館：三重
■議事内容
1）室内錠の JIS 規格について
2）JLMA マークから JIS マークへの昇華について
3）製品サーベイランスの問題点
4）実施要領書の改定（製品申請の要領に関して）
5）実用性能委員会メンバーについて
6）試験所審査／製品審査チェックシート見直し（サーベイランス用）
7）サムターンの繰り返し試験について
8）JLMA HP の実用性能認定製品検索について
9）電気錠の繰り返し性能について
10）G 社試験所サーベイランス予備審査
11）交通費について　12）試験所申請・製品申請書類のＣＤ化

◉第 1 回 実用性能認定制度審査会教育研修会〈平成 26 年 10 月 23・24 日〉

■場　　所　　BL 筑波試験センター：茨城
■内　　容
1）参加者：鈴木敏夫（建材試験センター）、齋藤暎芳（ＢＬ）
　アルファ、WESTinx、オプナス、川口技研、ゴール、シブタニ、日本カバ、堀商店、美和ロック、ユーシン・ショウワ、長沢製作所
　事務局：加藤会長、木村事務局長
2）内容：ＢＬで実施する試験視察　　試験所認定業務に関する講習

第１回 実用性能認定制度審査会教育研修会

◉第７回 JLMA 試験所審査（サーベイランス）〈平成 26 年 12 月 19 日〉

■場　　所　　美和ロック株式会社：三重
■議事内容
１）試験所サーベイランス審査　　２）実施試験の確認

◉第８回 JLMA 試験所審査（サーベイランス）〈平成 27 年 2 月 20 日〉

■場　　所　　株式会社シブタニ：大阪
■議事内容
１）試験所サーベイランス審査　　２）実施試験の確認

◉第９回 JLMA 試験所審査（サーベイランス）〈平成 27 年 3 月 12 日〉

■場　　所　　株式会社ユニオン：大阪
■議事内容
１）試験所サーベイランス審査　　２）実施試験の確認

官民合同会議試験

◉第 19 回 官民合同会議試験　〈平成 26 年 4 月 17 日〉

■場　　所　　株式会社アルファ：横浜
■議事内容
１）１社１品目（再試験）　・試験結果の審議
２）追加・変更申請　・１社２品目および自主点検指摘による申請再提出１社
３）特許出願の扱い方（今後の CP 審査会の方向性について）
４）電気錠の開錠手口

ピッキング性能試験

◉第 23 回 ピッキング性能試験　〈平成 26 年 8 月 28 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■内　　容　　ピッキング試験実施、3D プリンターの件

◉第 24 回 ピッキング性能試験　〈平成 26 年 10 月 16 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■内　　容　　耐ピッキング性能試験（1 社 1 製品）実施

◉第 25 回 ピッキング性能試験　〈平成 27 年 1 月 29 日〉

■場　　所　　株式会社アルファ：横浜
■内　　容　　ピッキング試験実施（1 社 1 品目）

ＣＰ審査委員会

◉第 136 回　〈平成 26 年 6 月 24 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
１）追加・変更申請 (2 社 3 品目)
２）電気錠開錠手口各社見解について
３）平成 26 年度計画について

◉第 137 回　〈平成 26 年 8 月 28 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
１）追加・変更申請（1 社 3 品目）　２）CP 試験員登録について
３）電気錠開錠手口各社見解について
４）その他（ピッキング試験実施、3D プリンターの件）

◉第 138 回　〈平成 26 年 9 月 26 日〉

■場　　所　　株式会社アルファ：横浜
■議事内容
１）CP 試験員登録について　　２）開錠手口について

◉第 139 回　〈平成 26 年 10 月 16 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
１）開錠手口についての検証
２）耐ピッキング性能試験（1 社 1 製品）実施

◉第 140 回　〈平成 26 年 12 月 19 日〉

■場　　所　　株式会社シブタニ：大阪
■議事内容
１）CP 自主点検に関する変更申請について
２）ピッキング性能試験について　　３）解錠手口についての検証
４）第 49 回理事会報告

◉第 141 回　〈平成 27 年 2 月 27 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
１）CP 申請について
　・新規申請受付　1 社 1 品目　　・追加変更申請　2 社 10 品目
２）審査委員会メンバー変更の件

◉第 142 回　〈平成 27 年 5 月 12 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
１）追加・変更申請（1 社 1 品目）
２）耐ピッキング性能試験受付
３）平成 27 年度事業計画について

25年度　総会・理事会・部会活動経過

官民試験員体力測定及び講習会

◉体力測定　平成 26 年 9 月 25 日

■場　　所　　港北スポーツセンター：横浜
■内　　容
1）H26 年度は各会員会社から 24 名の一般試験員の参加があった。

立ち幅跳び

握力

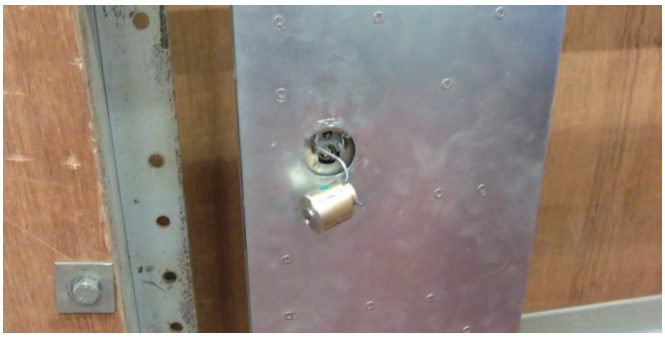
反復横跳び

長座体前屈

20m シャトルラン

◉講習会　　平成 26 年 9 月 26 日

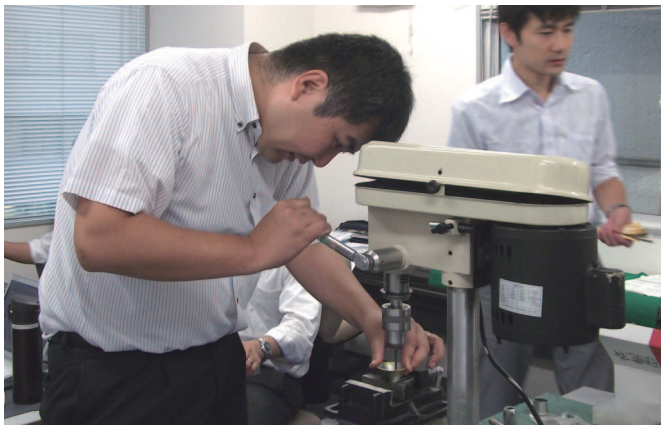
■場　　所　　株式会社アルファ：横浜
■内　　容
1）ドリリング試験講習　　2）シリンダーもぎ取り試験講習



自主点検委員会

◉第 32 回〈平成 26 年 8 月 28・29 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
1）H26 年度は 15 社の CP 製品について自主点検を実施
2）その他確認事項について



部会長会議

◉第６回　〈平成 26 年 7 月 15 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
1）JLMA 次期体制について　　2）表彰について
3）実用性能広報用パンフレット配布について
4）JLMA WEB 会報（VOL25 号）発刊について　　5）各部会活動報告

◉第7回　〈平成 26 年 11 月 26 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
1）第 49 回理事会に向けた各部会事業計画進捗状況確認
2）第 49 回理事会議事確認

◉第８回　〈平成 27 年 3 月 13 日〉

■場　　所　　エル大阪：大阪
■議事内容
1）次期体制について　2）平成 27 年度 JLMA 基本方針について
3）保守点検法制化について
4）安全・安心「防犯の日」の周知活動について

5 団体防犯建物部品普及促進協議会

◉第 138 回　〈平成 26 年 6 月 23 日〉

■場　　所　　板硝子協会：東京
■議事内容
1）本年度 5 団体協議会活動費用承認について
2）安全・安心「防犯の日」活動について
3）警察博物館、警視庁警察参考室 CP 商品展示について
4）防犯防災総合展 in KANSAI について
5）関東管区警察学校専科について

◉第 139 回　〈平成 26 年 7 月 22 日〉

■場　　所　　警視庁：東京
■議事内容
1）警視庁警察参考室（警視庁内）　　2）警察博物館（京橋）

◉第 140 回　〈平成 26 年 8 月 25 日〉

■場　　所　　板硝子協会：東京
■議事内容
1）第 1・2 回協議会議事録確認・承認
2）安全・安心「防犯の日」活動について
　2）−1　ロゴの件　　2）−2　プレスリリース作成の件
3）警察博物館展示について　　4）警視庁新聞への記事掲載について
5）DVD 作成（パワーポイント版）の検討
6）日本サッシ協会会報（窓快）について
7）2014 年度 7 月末会計報告について

◉第 141 回　〈平成 26 年 9 月 22 日〉

■場　　所　　板硝子協会：東京
■議事内容
1）安全・安心「防犯の日」活動について
2）警察博物館展示について
3）今年度次世代防犯ボランティア育成プログラム事業について
4）その他　　・"CP 商品 " 使用についての議論
　　・CP 普及促進活動の記録を警察庁に提出

◉第 142 回　〈平成 26 年 10 月 27 日〉

■場　　所　　板硝子協会：東京
■議事内容
1）第 4 回協議会議事録の確認
2）安全・安心「防犯の日」活動について（ロゴ、他）
3）警察博物館展示、警視庁内展示について
4）平成 26 年度次世代防犯ボランティア育成プログラム事業について
5）HP 運営経費の請求について
6）防犯防災総合展 in KANSAI について

◉第 143 回　〈平成 26 年 11 月 25 日〉

■場　　所　　板硝子協会：東京
■議事内容
1）第 5 回協議会議事録の確認
2）安全・安心「防犯の日」活動について（警察庁承認の件、他）
3）警察博物館展示、警視庁内展示について
4）平成 26 年度次世代防犯ボランティア育成プログラム事業について
5）警察大学校専科教養の件
6）防犯防災総合展 in KANSAI について
7）その他・CP 共通標章更新の件
　・第 23 回セキュリティショー 2015 について　　・10 月会計報告

◉第 144 回　〈平成 26 年 12 月 22 日〉

■場　　所　　板硝子協会：東京
■議事内容
1）第 6 回協議会議事録の確認、承認について
2）安全・安心「防犯の日」活動について
3）警察博物館展示、警視庁内展示について
4）平成 26 年度次世代防犯ボランティア育成プログラム事業について
5）警察大学校専科教養の件　　6）その他

◉第 145 回　〈平成 27 年 1 月 26 日〉

■場　　所　　日本ロック工業会：東京
■議事内容
1）第 7 回協議会議事録の確認、承認について
2）安全・安心「防犯の日」活動について
3）警察博物館展示、警視庁内展示について
4）平成 26 年度次世代防犯ボランティア育成プログラム事業について
5）警察大学校専科教養の件

26年度　総会・理事会・部会活動経過

◉第 146 回　〈平成 27 年 2 月 23 日〉

■場　　所　　板硝子協会：東京
■議事内容
1）第 8 回協議会議事録の確認、承認について
2）安全・安心「防犯の日」活動について
3）警察博物館展示、警視庁内展示について
4）平成 26 年度次世代防犯ボランティア育成プログラム事業について
5）SECURITY SHOW 2015 について

◉第 147 回　〈平成 27 年 3 月 23 日〉

■場　　所　　板硝子協会：東京
■議事内容
1）第 9 回協議会議事録の確認、承認について
2）安全・安心「防犯の日」活動について
3）警察博物館展示、警視庁内展示について
4）SECURITY SHOW 2015 について
5）防犯防災総合展 in KANSAI 2015 について
6）その他
・「関東管区警察学校における防犯実務専科授業」協力依頼
・CP パンフレット増刷版について　　・協議会の来年度予算について
・H26 年度 3 月迄の会計報告

◉第 148 回　〈平成 27 年 4 月 27 日〉

■場　　所　　板硝子協会：東京
■議事内容
1）第 10 回協議会議事録の確認、承認について
2）安全・安心「防犯の日」活動について
3）警察博物館展示、警視庁内展示について
4）防犯防災総合展 in KANSAI 2015 について
5）その他
・関東管区警察学校の防犯実務専科教養について
日時：6 月 23 日（月）　12:50 ～ 15:40　対象人数 25 名
・H27 年度次世代防犯ボランティアリーダー育成プログラム事業（案）について　日時：6 月 8 日（月）　15:40 ～ 16:40　対象人数 34 名

〈5団体関係者ＯＢ会〉

◉第 1 回　〈平成 26 年 7 月 22 日〉

■場　　所　　浅草橋：東京
■内　　容
5 団体防犯建物部品普及促進協議会（略称 =5 団体協議会）が発足（2014 年）して 10 年を機に、5 団体協議会の活動にご尽力された方々にお声掛けし今回第 1 回目となる OB 会を開催しました。
皆さま方におかれては、現役を離れても地域を通じて「安全・安心」そして防犯に寄与されていることは心強いことです。

〈次世代防犯ボランティアリーダー育成プログラム事業研修会〉

◉第 1 回 広島地区　〈平成 26 年 11 月 8 日〉

■場　　所　　TKP ガーデンシティ広島：広島
■議事内容
1）安全性の高い建物部品について（5 団体協議会 木村事務局長）
2）子供の犯罪被害について（㈱ステップ総合研究所顧問 清水賢二）
3）子供の犯罪被害防止の訓練方法（㈱ステップ総合研究所所長 清水奈穂）
4）自由討議

◉第 2 回 東京地区　〈平成 26 年 12 月 6 日〉

■場　　所　　TKP 田町：東京
■議事内容
1）安全性の高い建材について（5 団体協議会 木村事務局長）
2）子供の犯罪被害防止のための訓練方法、体験学習
（㈱ステップ総合研究所 清水奈穂代表取締役）
3）自由討議

◉第 3 回 兵庫地区　〈平成 27 年 1 月 31 日〉

■場　　所　　TKP 三宮：兵庫
■議事内容
1）安全性の高い建物部品について
2）子供の犯罪被害防止のための訓練方法及び体験学習

〈警察関連講演等〉

◉第１回　防犯実務専科授業　〈平成 26 年６月５日〉

■場　　所　　関東管区警察学校：東京
■議事内容
１）CP 制度について
２）防犯性能の高い建物部品の紹介
・CP 錠と一般錠の違いと特殊開錠用具の説明

◉第２回　H26 年度都市･建物防犯に関する知識･技能専科〈平成 27 年１月 13 日〉

■場　　所　　警察大学校：東京
■議事内容
１）防犯性の高い建物部品の開発について（5 団体協議会 木村事務局長）
２）ＣＰ製品の防犯性能について

防犯建物部品「ＣＰ錠」の普及活動

◉第２回　防犯防災総合展 in KANSAI 2014

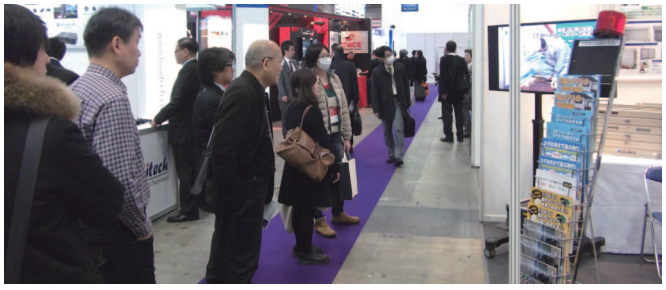
■場　　所　　インテック大阪：大阪」〈平成 26 年６月 12 日～13 日〉
■内　　容
１）５団体協議会参加企業のＣＰ商品・防犯パネル展示、パンフレット配布及び防犯ＤＶＤ放映
２）ＣＰ錠展示、各制度パンフレット配布（カギは自分で選ぶ時代）

◉第３回　ＣＰマーク（共通商標）更新登録申請（10 年）

■場　　所　　日本ロック工業会：東京〈平成 26 年 10 月 27 日〉
■議事内容
１）５団体協議会の共通商標出ある「ＣＰマーク」の更新登録申請

◉第４回　日経セキュリティショー 2015

■場　　所　　東京ビッグサイト：東京〈平成 27 年３月３日～6 日〉
■内　　容
１）来場者数：210,610 人（昨年 206,240 人）
２）内　容：ビル、オフィス関連のカメラを含めたセキュリティシステムが主流で開口部（CP 製品）に対する関心が薄らいでいる。



警察関連講演等

◉第１回　業務・研修部会　〈平成 27 年１月 20 日〉

■場　　所　　大阪府警察学校：大阪
■議事内容
１）ＣＰ錠の安全性について　　２）質疑応答

公益法人防犯設備協会

◉第１回　RBSS 審議会　〈平成 27 年４月 10 日〉

■場　　所　　日本防犯設備協会：東京
■議事内容
１）H26 年度 RBSS（優良防犯機器認定制度）実施報告
２）H27 年度 RBSS　推進計画について

シンポジウム参加

◉第１回　住宅部品点検の日　〈平成 26 年 10 月 10 日〉

■場　　所　　すまい・るホール：東京
■議事内容
「10 月 10 日は住宅部品点検の日」として制定された。日本ロック工業会も協賛団体の一員として、使用者が適正な錠を選択できるよう安全に関する錠の規格・基準・審査規定の制定および開示を行っていきます。

日本ロックセキュリティ協同組合意見交換会

◉第１回　JL・JLMA 意見交換会　〈平成 26 年８月 11 日〉

■場　　所　　GINZA KOSO：東京
■議事内容
１）JL 会員数増加提案　　２）JL 地位向上活動について
３）技術向上（JL,JLMA）研修会提案
４）防犯性能表示（法律）共有化の確認

◉第２回　日本ロックセキュリティ協同組合総代会〈平成 27 年５月 22 日〉

■場　　所　　アジュール竹芝：東京
■議事内容
１）会長挨拶　　２）役員との意見交換

東京都安全・安心まちづくり進協議会

◉第１回　〈平成 26 年７月３日〉

■場　　所　　東京都庁第一庁舎：東京
■議事内容
１）平成 25 年度活動結果報告
２）平成 26 年度活動方針及び活動計画の策定
３）構成団体の取組内容報告

◉第２回　〈平成 27 年１月 27 日〉

■場　　所　　東京都庁第一庁舎：東京
■議事内容
≪「誰もが安全安心を実感できる社会の実現を目指して」安全安心 TOKYO 戦略 基調講演抜粋≫
１）2020 年のオリンピック・パラリンピックの開催を控えて、「世界一の都市・東京」を目指しており、それにふさわしい安全安心を実現するため、「安全安心 TOKYO 戦略」を策定する。
２）強化すべき具体的な取り組み
◆規範意識の向上⇒モラル・ルール・マナーの向上推進
◆地域の力の強化⇒安全安心の環境整備
◆分担と連携の強化⇒安全安心の情報発信・共有の仕組みづくりを区市町村へ促進

◉第３回　〈平成 27 年５月 26 日〉

■場　　所　　東京都庁第一庁舎：東京
■議事内容
１）平成 26 年度活動実績報告　　２）平成 27 年度活動計画について
３）「東京都安全･安心まちづくり条例」改正に関するパブリックコメント実施
・２０２０年オリンピック・パラリンピックの開催を控えて、誰もが安全安心を実感できる社会を実現するため、今後１０年の施策の方向性を明らかにする「安全安心 TOKYO 戦略」を策定した。

平成27年度事業計画

●業務・研修部会　Activities and Ttaining Committee

1．デジタルドアロック基準の確立と今後の方向性の内容が決まり次第、技術部会と連携し、対応を行う。
今年１１月開催予定の国際会議の決定事項を確認し、技術部会の活動に沿って国内製品の調査を行う。

2．“安全・安心「防犯の日」”の会員及び一般ユーザーへの周知活動
警察庁「全国地域安全運動」、全国防犯協会連合会「安全・安心な街づくりの日」、リビングアメニティ協会「住宅点検の日」、官民合同会議「５団体防犯建物部品普及促進協議会」等の防犯活動と連携を取り「防犯の日」の展開について検討をする。
警察庁、全国防犯協会連合会、リビングアメニティ協会、５団体と事務局を中心として、周知活動を行う。

3．シャッター・ドア協会、サッシ協会などの関連団体、及びゼネコンの海外関係の部署を訪問し、情報収集を行う。
海外の市場動向、輸出促進に必要な諸条件を調査・収集し、ＪＬＭＡ会員に情報を展開する。

4．JIS規格の国際化の方向性が決まり次第、周知方法を検討する。

5．「錠の実用性能認定制度」・「錠の保守・点検制度」および「錠のガイドライン」の周知活動を行う。
実用性能認定製品をホームページ上で検索可能となったことで、その広報の一環として、周知させる為のパンフレットを作成する。

● 技術部会　Technology Commmittee

1．実用性能認定制度の運用への協力
試験実施要領書（要請に応じ）の見直しを検討する。

2．JIS規格を改正する
ＪＩＳ改正原案は、規格協会に提出済み、１０月頃予定の経済産業省主催の建築技術専門委員会で、内容の審査が行われる予定。

3．ＪＬＭＡ規格の新基準の作成
①電気的認証部の評価規準の検討
②錠の標準仕様 JLMA A2005-1、2、3 の見直し
・Ｃｊｋ（長期使用住宅部材標準化推進協議会）基準書の切り欠き寸法をＪＬＭＡ規格に取り込む。

4．日本サッシ協会試験規格部会・国際対応部会への参加
・１回／月参加（２名予定）

5．ＩＥＣ／ＴＣ７９デジタルドアロック規格作成への参加
・韓国提案のデジタルドアロック規格を、我が国に大きな影響がでないよう注意し規格策定にあたる。

● 制度部会　（実用性能審査会）　Systems Committee

「錠の実用性能認定制度」・「錠の保守・点検制度」及び「錠のガイドライン」の制度運用と周知活動のフォロー

1．実用性能認定制度審査会（WG）の活動
実用性能認定制度審査会（ＷＧ）メンバーは、制度部会の下部組織として、「錠の実用性能認定制度」の申請に関して厳正な審査を実施すると共に円滑な運用体制を構築する。

①実用性能認定制度の審査業務の実行
・ＪＬＭＡ試験所のサーベイランス審査の実施　・製品申請受付及び審査の実施

②審査ＷＧメンバーのスキルの維持向上
・審査会メンバーの教育研修 (定期講習会等の実施)

③実用性能認定制度の運用上の課題処理検討
・実施要領書の定期見直し及び改訂作業　・製品サーベイランス実施要領の検討及び作成　・室内錠の表示内容・規格の検討

2．制度部会の活動
制度部会メンバーは、「錠の実用性能認定制度」・「錠の保守・点検制度」及び「錠のガイドライン」の周知に関し必要に応じ他部会並び関連団体と連携し横断的な活動を行う

①「錠の実用性能認定制度」ＪＬＭＡマーク認知度の向上
・必要に応じＪＬＭＡ事務局広報との連携による活動実施

②「錠の保守・点検制度」の実施運用状況フォロー
・ＪＬとの定期会合（管理委員会）による意見交換

③「耐用年数ガイドライン」の周知活動のフォロー
・必要に応じ業務・研修部会との横断的活動の実施管理委員会会議

● CP 審査委員会

CP Screening Committee

1．官民合同会議関連の全ての審査

①官民試験（一般錠＋電気錠）

「防犯建物部品の防犯性能試験に関する申請要項」に基き申請を受付け書類審査で試験項目を決定し一般試験員、特殊試験員による防犯性能試験を行う。

・ピッキング性能試験

「ピッキング性能試験案内」に基き申請を受付けピッキング試験を行う。　＊定期試験は年２回、申請は随時受付けし定期外試験も行う。

②ＣＰ試験員 WG

・一般試験員の体力測定

一般試験員の適正体力を担保するため　年１回体力測定を行い適性を判定する。

・一般試験員講習会

比較的難易度の高い模擬試験（シリンダーのドリル、もぎ取り）を体験させ若手試験員の技量の底上げとベテラン試験員の技量維持を図る。

2．JLMA 内の技術的案件に対する全ての審査

①ＣＰ試験審査委員会

・ＣＰ製品追加・変更申請の審査とその他技術的案件の審査を行う。

・永続的な内部規定の見直しでＣＰ製品の普及促進を図る。

②電気錠基準 WG

・電気錠認証装置性能の規格化を実現する。

・電気錠認証装置の性能表示を企画する。

③予備審査管理 WG

・ＣＰ試験内規と基準管理を通じて実試験省略の目安を随時具現化していく。

3．自主点検委員会

①第１０回自主点検実施

ＣＰ目録リストから販売のある半数の製品を購入し図面と同一構成となっているか製品を分解し部品検査を行い検査報告書を作成する。（２年サイクルで検査）

②是正確認

指摘事項のあった製品については是正確認まで行う。

● 事務局

Secretariat

1．デジタルドアロックの性能規格に関する検討

①行政および関連団体等からの情報収集と各部会との調整。

2．“安全・安心「防犯の日」”の周知活動

①５団体での活動方針をＪＬＭＡ部会へ展開する。

・全国防犯協会連合会「次世代防犯ボランティア育成プログラム研修会」での周知５団体ホームページ開設に関する提案

・行政に対しての周知活動（警察博物館・警視庁等）

3．錠前の輸出促進を図る施策検討

①業務・研修部会と連携し、関連団体等の情報を収集する。

4．ＪＩＳ規格の国際化への検討

①経済産業省等からの情報収集

5．「錠の実用性能認定制度」・「錠の保守・点検制度」および「錠のガイドライン」の周知活動

①リビングアメニティ協会「住宅点検の日」での周知活動

・日本サッシ協会、日本シヤッター・ドア協会、公共建築協会、ベターリビング等への周知

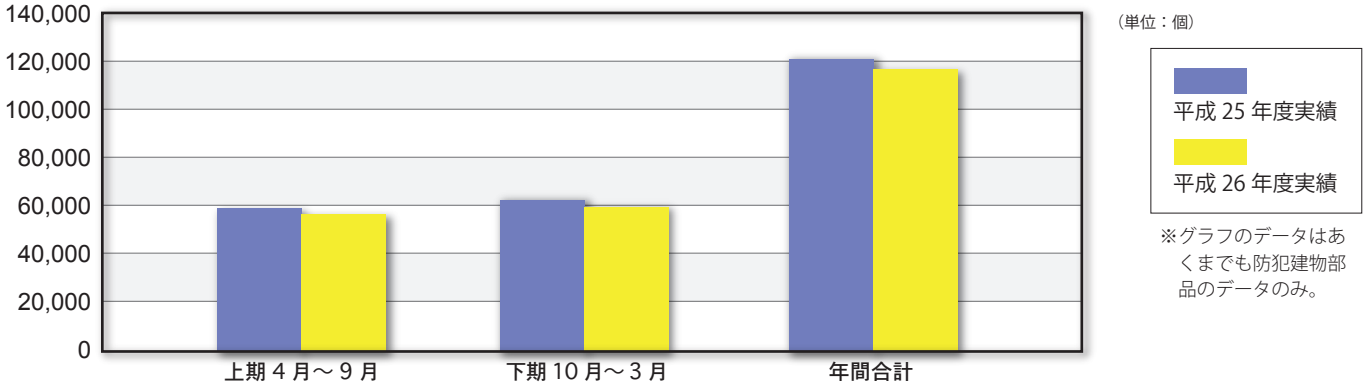
・建築基準法改正にともなう錠の点検項目の追記について検討

26年度ＪＬＭＡ防犯建物部品の普及情報

種別／名称	上期／平成26年4月～9月			下期／平成26年10月～平成27年3月			年間／平成26年4月～平成27年3月		
	指定建物錠	防犯建物部品	CP/指定建物錠	指定建物錠	防犯建物部品	CP/指定建物錠	指定建物錠	防犯建物部品	CP/指定建物錠
シリンダー錠	1,920,914	56,676	2.95%	2,018,851	59,007	2.92%	3,939,765	115,683	2.94%
シリンダー	1,298,789	159	0.01%	1,480,119	107	0.01%	2,778,908	266	0.01%
サムターン	97,266	294	0.30%	114,797	299	0.26%	212,063	593	0.28%
平成25年度実績	3,316,969	57,129	1.72%	3,613,767	59,413	1.64%	6,930,736	116,542	1.68%
平成24年度実績	3,266,886	59,698	1.83%	3,700,568	62,354	1.68%	6,967,454	122,052	1.75%

（単位：個）

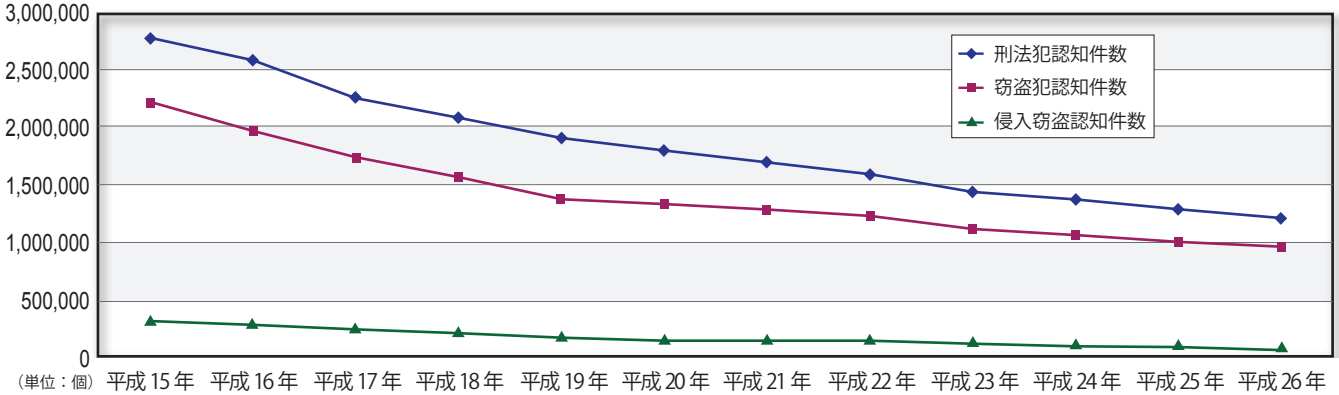
防犯建物部品出荷数推移比較（平成25・26年度）



※グラフのデータはあくまでも防犯建物部品のデータのみ。

◇平成26度の指定建物錠の合計出荷数量は、前年比99%（36,718個）と減少した。防犯建物部品の合計出荷数量においても、前年比の95%と減少。防犯建物部品が指定建物錠総数に占める割合も前年度1.57%から1.68%となり、全体的に減少。全防連、５団体との連携を図りＣＰ普及促進における啓蒙活動が必要。

警察庁統計　認知件数



区　分	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
刑法犯認知件数	2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850	1,908,836	1,818,023	1,714,001	1,604,205	1,502,802	1,403,270	1,314,140	1,212,163
窃盗犯認知件数	2,235,844	1,981,574	1,725,072	1,534,528	1,429,956	1,372,840	1,308,427	1,229,181	1,152,289	1,059,260	981,233	897,259
侵入窃盗認知件数	333,233	290,595	244,776	205,463	175,728	155,047	148,488	136,552	126,382	115,337	107,313	93,566

（単位：件）　出典：警察庁

◇刑法犯の認知件数は平成14年をピークに一貫して減少しており、犯罪情勢には一定の改善がみられる。刑法犯の認知件数は平成8年から14年にかけて増加し続け、同年には約285万件に達した。しかし、平成15年からは減少に転じ、25年は131万4.140件、26年には約121万件と減少した。近年の刑法犯の認知件数の減少は、窃盗犯の認知件数の減少が大きな要因となっており、14年から25年にかけての刑法犯の認知件数の減少数の90.7%を同期間の窃盗犯の認知件数の減少数（139万6.255件）が占めている。侵入窃盗の認知件数は平成14年の338.294件から平成25年の107.467件と68%減少した。消費者の防犯意識は高まっており、防犯建物部品への関心を高める取組を継続していく必要がある。

会員会社紹介

Keiden SINCE 1972 株式会社計電産業

1972 年の創業以来、一貫して開発精神に富んだ確かな防犯製品の提供を目標としております。
当社は、ニーズを先取りするパイオニアとしての自覚から絶えず研究開発を続けること、常に時代と共に老朽化する建物を防犯面でフォローしグレードアップさせること、ユーザー様・お取引先の皆様から更に喜ばれる防犯製品を提供し続けることを基本とし、さまざまな観点から高機能・高品質・高保安性を追求しております。
このような一貫した企業姿勢を増幅させ変革する防犯機器市場に適応し、より一層皆様のお役に立てるよう努力を重ねてまいります。

株式会社計電産業
■本社・東京営業所
〒113-0021東京都文京区本駒込2-29-24
TEL.03-3945-0069 FAX.03-5319-0335
■大阪営業所
〒530-0031大阪府大阪市北区菅栄町1-20
TEL.06-6354-1169 FAX.06-6354-1197
■福岡営業所
〒810-0073福岡県福岡市中央区舞鶴1-4-1
TEL.092-739-6155 FAX.092-739-6156

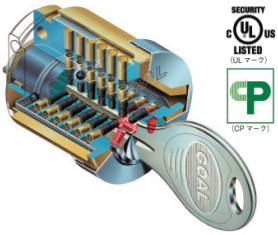
株式会社ゴール GOAL® SINCE 1914

弊社は 1914 年の創業以来、「安全と安心」をお届けする企業として、「錠前」一筋にたゆまぬ努力を積み重ねて参りました。
その間、ニーズの多様化と共に、ドアロックからカードロックや電気錠を初めとする各種出入口管理システム機器や防災システム機器なども開発、その取り扱い商品は幅広い分野に亘っています。
近年の治安の悪化に伴い、錠の役割の重要性が改めて強く認識され始めています。このような情勢の中、日本のロックメーカーとして初めて「米国 UL 防犯規格」の認定を取得（2002 年）、また我が国の「防犯建物部品（CP 製品）」に登録される（2004 年）など、製品の品質や防犯性を更に高めて参りました。
これからも、常にお客様に「安全と安心」をお届けできる錠前専門メーカーとして更に研鑽を重ねて参りますので、より一層のご指導とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

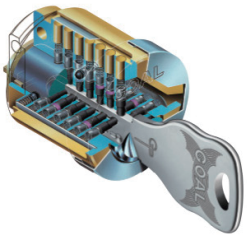
■本　　社：〒532-0032　大阪市淀川区三津屋北 2－16－6
■東京支店：〒108-0022　東京都港区海岸 3-20-20
ヨコソーレインボータワー 10 階　☎03－3452－6341
■大阪支店：〒532-0032　大阪市淀川区三津屋北 2-16-6　☎06－6308－5441
■富山支店：〒930-0161　富山市東老田 355-6　☎076－434－3971
■営 業 所：札幌・仙台・名古屋・広島・高松・福岡
http://www.goal-lock.com

〈ディンプルキー・シリンダーの超高級品〉
● GVシリンダー（2005年　開発・販売）

〈ディンプルキー・シリンダーの高級品〉
● V18シリンダー（1997年　開発・販売）



〈ディンプルキー・シリンダーの標準品〉
● GPシリンダー（2015年2月　開発・販売）



第 16 回 定時総会懇親会

懇親会の全景

第 16 回定時総会懇親会は、５月 27 日（水）に東京都千代田区霞ヶ関の法曹会館「高砂」において、加藤会長の開会挨拶に始まり、ご来賓である国土交通省の谷山様、経済産業省の古谷野様、つづいて警察庁の成田様よりお祝辞をいただき、関係団体の皆様 23 団体 42 名のご臨席を賜り盛大な会が執り行われました。

◉来賓紹介

警察庁
生活安全局　成田様

経済産業省製造産業局
課長補佐　古谷野様

国土交通省住宅局
課長補佐　谷山様

開会の挨拶
加藤会長

乾杯の挨拶
和氣副会長

中締めの挨拶
岸本副会長

司会を努めた
益田さん

受付の片岡さん（左）と
益田さん

◉新任役員紹介

株式会社ゴール
岸本副会長

美和ロック株式会社
和氣副会長

株式会社アルファ
有賀理事

株式会社シブタニ
遠藤理事

「日本ロック工業会　第 16 回 懇親会」会長挨拶

本日、日本ロック工業会の第１６回定時総会後の「懇親会」のご案内を申し上げましたところ、皆様方にはご多忙の中、多数のご出席をいただき誠にありがとうございます。
また、大変お忙しいところご臨席いただきました、警察庁成田対策官はじめ幹部の皆様・国土交通省谷山課長補佐はじめ幹部の皆様・経済産業省古谷野課長補佐はじめ幹部の皆様・関連諸団体の皆々様には、日頃より日本ロック工業会の活動に対しご指導賜りますこと、この場をお借りいたしまして心よりお礼申し上げます。

先ほど、司会からも報告されましたが、日本ロック工業会「第１６回定時総会」は滞りなく終了いたしましたことご報告させていただきますと共に、今年度は当会の役員改選の年でありました。会長職は前期から引き継ぎ、わたくし加藤が、副会長といたしましては、東日本代表として美和ロック株式会社　代表取締役社長（和氣英雄）、西日本代表として株式会社ゴール　代表取締役社長（岸本俊仁）が新任で選出されました。
また、新任理事として株式会社アルファ取締役常務執行役員（有賀新二）、同じく株式会社シブタニ代表取締役社長（遠藤偉佐實）にご活躍頂くことになりました。他の理事におかれましても引き続きご協力いただけることとなり、私としても非常に心強い役員人事となりました。

今後も一層「安全・安心まちづくり」に貢献することを目的に、関係諸官庁および関連諸団体のご支援とご指導を受けながら邁進して参る所存でございます。今期もどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成２７年度の当会の事業ですが、防犯に関する様々な対応を図ることにより「ＣＰ製品」の存在価値を大いに高め、継続的な展開を図ることが必要であると考えています。このためにも、本日お集まりの行政・関連諸団体の方々と共に国民の防犯意識を高めていく活動を展開できればと熱望致すところでございますのでどうぞご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

現在我々は国民の防犯意識の向上を図る施策について、その趣旨を官民合同会議構成員として設立された「５団体防犯建物部品普及促進協議会」にはかり、安全・安心「防犯の日」として５月１３日に制定し活動しております。国民の防犯意識を高めるための日として、全国防犯協会連合会様のご理解とご協力を受け国民の「防犯意識向上」に寄与出来るのではないかと努力しているところでございます。

次に錠前の実用性能認定制度の積極的な展開であります。錠の実用性能認定制度は、昨年度末にＪＬＭＡ試験所１２箇所・製品７社４１品目の認定となりました。現在、経済産業省様にご指導いただきながら、JIS 規格に基づいた錠前の性能について情報提供を行っております。

本日お集まりの方々は充分ご承知でしょうが、錠前の性能は永遠ではありません。当会は、安全・安心にご使用いただくために「錠の耐用年数ガイドライン」と「錠の保守点検制度」を制定しております。耐用年数についてはメカ錠１０年と電気錠７年と制定いたしました。
非常錠・電気錠等の点検を日常化することにより、避難路・防火扉等の開閉に支障を来たすことがなくなり、電気錠の施解錠のトラブルがなくなる環境づくりが出来ると考えています。
また、耐用年数を明確にすることで、錠を施工する団体である日本ロックセキュリティ協同組合とタイアップしながら、「空家」と「既存住宅のリフォーム」対策に関する事業が展開できると考えています。

新たな目標としては、リフォーム事業で特に有効な「デジタルドアロック」について、市場動向・定義・防犯性能の評価等を整理し、安心して使用いただける製品として研究して参ります。

また、錠の輸出促進に関して各省庁をはじめＪＥＴＲＯ、海外建築協会、海外からの情報を基にＣＰ製品・実用性能認定製品の今後の輸出促進の施策を鋭意検討しているところでございます。

日本ロック工業会はご説明させていただいた事業内容を中心に一生懸命頑張っていく所存でございます。ぜひ今まで以上のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。「防犯性能」「実用性能」「耐用年数」とこれらの制度が整うことによって、錠前は信頼される工業製品として受け入れられて頂けることと確信しております。

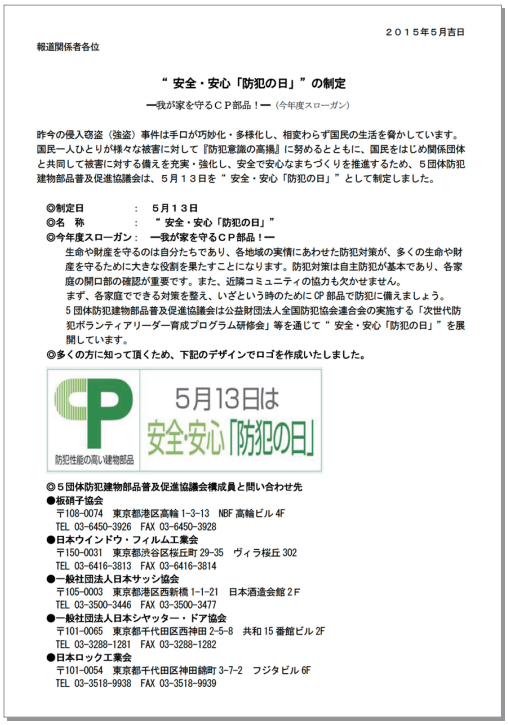
最後にこの懇親会が皆様方の意見の交換会の場として盛り上げていただきますよう心からお願いいたしまして私のご挨拶とさせて頂きます。

ありがとうございました。

“安全・安心「防犯の日」”の制定について

巧妙化・多様化した犯罪から、生命や財産を守るため、国民の防犯意識を高めることが最重要と考え、５団体防犯建物普及促進協議会は警察庁と協議し、**５月１３日を“安全・安心「防犯の日」”**として制定した。５団体協議会では、業界団体はもとより関係者や多くの一般の方々に周知するため、平成２７年５月１３日にプレスリリース（下記参照）として各所に配信した。

また、各パンフレットにも安心・安全「防犯の日」をアピールしています。



報道関係者各位

２０１５年５月吉日

“ 安全・安心「防犯の日」”の制定

―我が家を守るＣＰ部品！―（今年度スローガン）

昨今の侵入窃盗（強盗）事件は手口が巧妙化・多様化し、相変わらず国民の生活を脅かしています。国民一人ひとりが様々な被害に対して『防犯意識の高揚』に努めるとともに、国民をはじめ関係団体と共同して被害に対する備えを充実・強化し、安全で安心なまちづくりを推進するため、５団体防犯建物部品普及促進協議会は、５月１３日を“ 安全・安心「防犯の日」”として制定しました。

◎制定日　：　５月１３日
◎名　称　：　“ 安全・安心「防犯の日」”
◎今年度スローガン：　―我が家を守るＣＰ部品！―
生命や財産を守るのは自分たちであり、各地域の実情にあわせた防犯対策が、多くの生命や財産を守るために大きな役割を果たすことになります。防犯対策は自主防犯が基本であり、各家庭の開口部の確認が重要です。また、近隣コミュニティの協力も欠かせません。
まず、各家庭でできる対策を整え、いざという時のために CP 部品で防犯に備えましょう。
５団体防犯建物部品普及促進協議会は公益財団法人全国防犯協会連合会の実施する「次世代防犯ボランティアリーダー育成プログラム研修会」等を通じて“ 安全・安心「防犯の日」”を展開しています。
◎多くの方に知って頂くため、下記のデザインでロゴを作成いたしました。

防犯性能の高い建物部品　5月13日は 安全安心「防犯の日」

◎５団体防犯建物部品普及促進協議会構成員と問い合わせ先
●板硝子協会
〒108-0074　東京都港区高輪 1-3-13　NBF 高輪ビル 4F
TEL 03-6450-3926　FAX 03-6450-3928
●日本ウインドウ・フィルム工業会
〒150-0031　東京都渋谷区桜丘町 29-35　ヴィラ桜丘 302
TEL 03-6416-3813　FAX 03-6416-3814
●一般社団法人日本サッシ協会
〒105-0003　東京都港区西新橋 1-1-21　日本酒造会館 2F
TEL 03-3500-3446　FAX 03-3500-3477
●一般社団法人日本シャッター・ドア協会
〒101-0065　東京都千代田区西神田 2-5-8　共和 15 番館ビル 2F
TEL 03-3288-1281　FAX 03-3288-1282
●日本ロック工業会
〒101-0054　東京都千代田区神田錦町 3-7-2　フジタビル 6F
TEL 03-3518-9938　FAX 03-3518-9939

「CP 防犯対策」パンフレット

「カギは自分で選ぶ時代」パンフレット

京橋にある警察博物館内に展示

博物館入口のカタログ立て

４階の防犯対策コーナーに紹介

◉５団体　マスコミリスト（2015.04）

日本経済新聞社	産業部	若杉　朋子	100-8065	千代田区大手町 1-3-7		03-6256-2096
日刊工業新聞社	編集局第２産業部	斎藤 正人	100-0013	千代田区霞ヶ関 2-1-3	国土交通記者会 (5F)	03-3503-6393
日刊建設工業新聞社	編集局	濱本　高佑	105-0021	港区東新橋 2-2-10		03-3433-7161
日刊建設通信新聞社	編集局	西原　一仁	101-0054	千代田区神田錦町 3-13-7	名古路ビル本館	03-3259-8721
日刊建設産業新聞社	編集局	年縄　敦	173-0004	板橋区板橋 1-48-9		03-3961-1691
鉄鋼新聞社	編集局　鉄鋼部	伊藤　健	101-0051	千代田区神田神保町 1-101	神保町 101 ビル	03-5259-5203
(株) 産業新聞社	編集局非鉄部	山田　邦和	104-0033	中央区新川 1-8-6	秩父ビル 5F	03-5566-8772
軽金属通信社	主幹	吉田　岑生	103-0016	中央区日本橋小網町 1-5-405		03-3639-5252
(株) サッシタイムス社	代表取締役	山根　隆久 (小林健治)	101-0033	千代田区神田岩本町 4	都築ビル 5F	03-3252-4931
(株) 時報社		水戸　福夫	143-0016	大田区大森北 4-12-3	CASA K 3A 号	03-3761-9962
軽金属工業新聞社		保坂　圭輝	104-0032	中央区八丁堀 4-12-7	明豊パークタワービル 5F	03-3552-6801
(株) 日本住宅新聞社	編集部　編集長	大川原　通之	113-0022	文京区千駄木 3-45-2	毎夕新聞印刷ビル	03-3823-2511
(株) 日本プレハブ新聞社	編集部	森　　静代	105-0003	港区西新橋 1-10-8	西新ビル 3F	03-3580-6650
㈱建通新聞社	首都圏本部営業部	横井　友則	105-0004	港区新橋 1-17-2	第 2 光和ビル 2F	03-3504-3551
日刊自動車新聞社			105-0012	港区芝大門 1-10-11　芝大門ｾﾝﾀｰﾋﾞﾙ3F		03-5777-2362
金物総合研究所	代表	湯淺　健夫	107-0052	港区赤坂 2-22-19	南部坂アネックス	03-3505-2877
(株) ガラス新聞社	編集部	谷　英治	531-0064	大阪市北区国分寺 2-1-14	ｱｺﾑ天六ビル 9F	06-6354-5106
カロス出版 (株)	軽金属ダイジェスト編集部　次長	益満　健之	104-0031	中央区京橋 1-17-12	吉住ビル	03-3562-5736
(株) 創樹社	ハウジングトリビューン編集部	三俣　　亮	113-0034	文京区湯島 1-1-2	ATM ビル	03-6273-1175
ＬＭ通信社		坂尾　　剛	160-0008	新宿区三栄町 16		03-3353-2614
ミルト出版会	代表	堤　　祥行	182-0023	調布市染地 3-1-87ﾄｰ1-407		0424-84-4507

実用性能認定制度研修会の開催

「実用性能認定制度」に携わる審査員の研修として、適正な試験所の評価を行うために必要である高度な技術の習得を図ることを目的に開催しました。

日　時：平成 26 年 10 月 23 日（木）～24 日（金）２日間

会　場：一般財団法人ベターリビング　つくば建築試験センター
茨城県つくば市立原２番地　TEL 029-864-1745

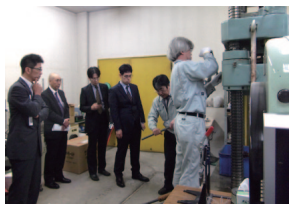
参加者：15 名　（株）アルファ、（株）WESTinx、（株）オプナス
（株）川口技研、（株）ゴール、（株）シブタニ
日本カバ（株）、（資）堀商店、美和ロック（株）
（株）ユーシン・ショウワ、（株）長沢製作所

研修内容：①ベターリビング研修センターで実施する試験内容の視察
：②ベターリビング齋藤講師および建材試験センター鈴木講師による試験所認定業務に関する実務講習
・優良住宅部品玄関ドア用錠前において要求する試験項目について
・JISQ17025 の理解について

鈴木講師

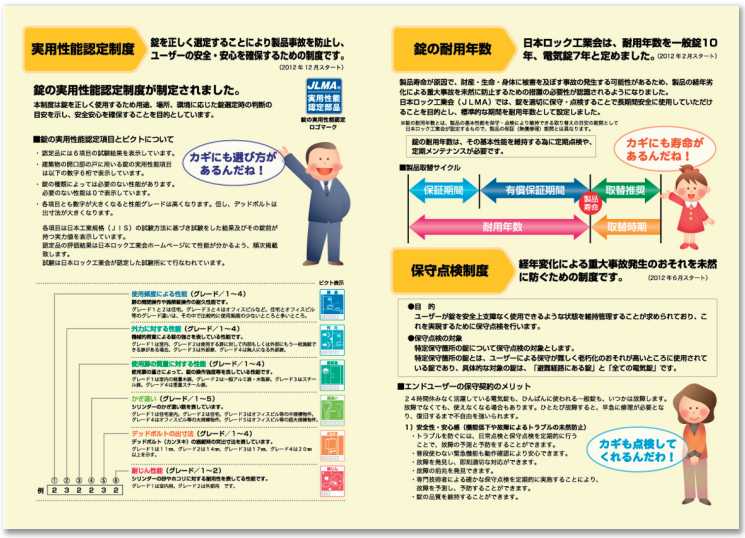
受講する JLMA のメンバー

試験機の説明


実試験の立ち会い

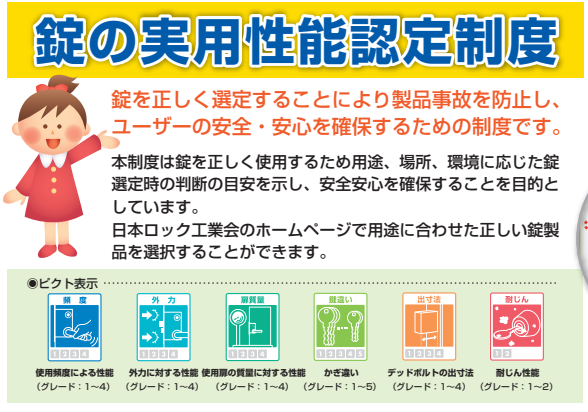
トピック①「カギは自分で選ぶ時代！」パンフレット制作・実用性能認定製品検索システム

１．錠の実用性能認定制度、錠の耐用年数、保守点検制度について、それぞれの制度の内容をわかりやすく説明しています。また、各制度の関連性についても理解していただけるよう、錠を正しく使用するため、用途・場所・環境に応じた錠選定時の判断の目安を示し、安全で安心できる錠の選定方法をまとめました。



２．錠の認定制度がスタートして２．５年が経過しました。錠を正しく選定することにより製品事故を未然に防止し、ユーザーの安全・安心を確保するための制度です。本制度は錠を正しく使用するために用途、場所、環境に応じた錠を選定するときの判断の目安を示し、安全安心を確保することを目的としています。
※JLMA のホームページを参考に、用途に合わせた正しい錠製品を選択することができます。

JLMA 実用性能認定部品
錠の実用性能認定マーク



日本ロック工業会ホームページがら用途に合わせた正しい「錠」選びが出来るようになりました。

トピック②「5 団体防犯建物部品普及促進協議会 OB 会」の開催

５団体ＯＢ会は昨年に発足した会で、５団体防犯建物部品普及促進協議会の関係者（卒業生も含む）がＣＰ製品の普及を目的に意見交換しています。昨年「防犯性能の高い建物部品（ＣＰ）」が誕生して１０周年を記念して各地から有志が集まり第１回を開催しました。今年も第２回目を開催する予定です。

◉第１回　５団体防犯建物部品普及促進協議会 OB 会　　日時：平成 26 年 7 月 22 日　場所：東京　浅草橋

■部会編成会社一覧表〈平成 27 年度〉

業務・研修部会 Activities and Ttaining Committee　９社

部 会 長	［副会長会社］	株式会社　ゴール
副部会長	［理事会社］	株式会社　オプナス
副部会長	［理事会社］	株式会社　ユーシン・ショウワ
部　　員	［理事会社］	株式会社　アルファ
部　　員	［理事会社］	株式会社　アート
部　　員	［理事会社］	株式会社　ＷＥＳＴ ｉｎｘ
部　　員	［理事会社］	株式会社　ベスト
部　　員	［副会長会社］	美和ロック　株式会社
部　　員		株式会社　ユニオン

技術部会 Technology Commmittee　13 社

部 会 長	［副会長会社］	美和ロック　株式会社
副部会長	［理事会社］	株式会社　アルファ
副部会長	［副会長会社］	株式会社　ゴール
部　　員	［理事会社］	株式会社　ＷＥＳＴ ｉｎｘ
部　　員	［理事会社］	株式会社　オプナス
部　　員	［理事会社］	株式会社　川口技研
部　　員		株式会社　日中製作所
部　　員	［理事会社］	株式会社　シブタニ
部　　員		株式会社　長沢製作所
部　　員	［会長会社］	日本カバ　株式会社
部　　員		合資会社　堀商店
部　　員	［理事会社］	株式会社　ユーシン・ショウワ
部　　員		株式会社　ヤナイ

制度部会（実用性能審査会） Systems Committee　11 社

部 会 長	［理事会社］	株式会社　アルファ
副部会長	［副会長会社］	美和ロック　株式会社
副部会長	［会長会社］	日本カバ　株式会社
部　　員	［理事会社］	株式会社　ＷＥＳＴ ｉｎｘ
部　　員	［理事会社］	株式会社　オプナス
部　　員	［理事会社］	株式会社　川口技研
部　　員	［理事会社］	株式会社　計電産業
部　　員	［副会長会社］	株式会社　ゴール
部　　員	［理事会社］	株式会社　シブタニ
部　　員	［理事会社］	合資会社　堀商店
部　　員		株式会社ユニオン

実用性能審査会 Practical performance Committee　11 社

［理事会社］		株式会社　アルファ
［理事会社］		株式会社　ＷＥＳＴ ｉｎｘ
［理事会社］		株式会社　オプナス
［理事会社］		株式会社　川口技研
［副会長会社］		株式会社　ゴール
［理事会社］		株式会社　シブタニ
		株式会社　長沢製作所
［会長会社］		日本カバ　株式会社
		合資会社　堀商店
［副会長会社］		美和ロック　株式会社
［理事会社］		株式会社　ユーシン・ショウワ

☞審査会は、公平・平等の観点から、部会長・副部会長制度は設けておりません。

ＣＰ審査委員会 CP Screening Committee　10 社

［理事会社］		株式会社　アルファ
［理事会社］		株式会社　ＷＥＳＴ ｉｎｘ
［理事会社］		株式会社　オプナス
［理事会社］		株式会社　川口技研（空錠）
［副会長会社］		株式会社　ゴール
［理事会社］		株式会社　シブタニ
［会長会社］		日本カバ　株式会社
		合資会社　堀商店
［副会長会社］		美和ロック　株式会社
［理事会社］		株式会社　ユーシン・ショウワ

☞審査委員会は、技術的案件の全ての審査に対して、公平・平等の観点から、部会長・副部会長制度は設けておりません。

■会員会社情報

【入会会員／賛助会員１社】　○入会日　／　平成２６年４月１日付

社名・株式会社東海理化電機製作所

【会員代表責任者変更】　○登録日　／　平成２６年１２月９日付

〈旧〉代表取締役　箭内　一　→　〈新〉代表取締役　箭内　理

安全・安心「防犯の日」の制定

防犯性能の高い建物部品

5月13日は
安全・安心「防犯の日」

5月１３日はＣＰマークの商標を出願した日です

JLMA® 日本ロック工業会

http://www.jlma.org

〒101-0054　東京都千代田区神田錦町３−７−２
TEL.03-3518-9938　FAX.03-3518-9939